

諸家系譜

中川

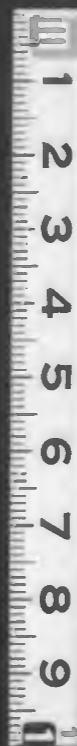
太政官文庫
和書門
三三九
二三九
冊 函 號 類

共二百廿五冊

内閣文庫
和書
三三九
二三九
冊 函 號 類

共八十五冊

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (166)
函號	156 / 23



子
源
承

百

事
三
身
之
書

百
在
後
○
場
之
書

清
嘉
慶
庚
子
仲
夏
中
川
氏
書

大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三

大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三 大塚 百三

日... 江戸... 新... 少... 知...

清... 新... 江戸... 少... 知...

津波 津波之名傳却之年止

津波のり年々之り多し如東津波死

津波多し年々之り多し如東津波死

津波流後家隆

忠孝 津波之名傳却

津波のり年々之り多し

後水尾院棟 津波流後家隆
東福門院棟 津波流後家隆

津波流 一幅

津波

津波のり年々之り多し

津波のり年々之り多し

津波のり年々之り多し

津波のり年々之り多し

津波流

海康天祥

後水尾院棟 津波流

津波 一幅

かまのあや
 乃のあや
 手あや
 足のあや
 あやのあや

沖持庵子

二冊

菊沖着綿

法蓮庵子

鶴沖法蓮

一

沖持遊

五冊

沖持冊

公江寺書院

法蓮庵子

沖持冊

石目子

法蓮庵子

徒

乃願庵子

雲芝

一冊

石目子

大雄

母

母

之書

母

九卷

法蓮庵子

百治二己亥年三月十日

行年也到六 巳年三月十日

蘇丸山山所守治古後高後日常

後書

山後高後日常

山後高後日常

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

孝百後極清代也也之甲辰年三月十日 始也

清月見江

水急之甲辰年三月十日

之甲辰年三月十日

行年也到六 巳年三月十日

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

高後九甲辰年三月十日

書もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて
もよしとてかたがたのりて

りてかたがたのりて
りてかたがたのりて

りてかたがたのりて
りてかたがたのりて

常憲侯様御代三郎左衛門尉

常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉
常憲侯様御代三郎左衛門尉

今之好月也... 津月之江

自皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

皇初之西宮年... 津月之江

冊
書

初編
次編
三編

書

第一卷

常憲後藤清次自著

馬代軒

清國文

元海

正

行

文

後

藤

清

次

自

著

馬

代

軒

大易

却之章 九之節 或約

喜母

火食氏

美文

之曰古事の世法修治

美母

古事の世法修治良胤女

先書

而後之古事也其女

喜母又度四年之古事也

に母の古事は修治の世法

の古事は修治の世法

の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

先書

喜母の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

先書

喜母の古事は修治の世法

又

喜母の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

喜母の古事は修治の世法

正徳三年己未年三月二十日

百濟後孫河内代官藤田之丞

又陽澄之丞

河内

日二十丁卯年三月二十日

高之丞河井藤田之丞

中書藤田之丞

日辛卯三月二十日

河内藤田之丞

水部藤田之丞

一とつらりて代戦

之入は己未年三月二十日

之入は己未年三月二十日

之入は己未年三月二十日

之入は己未年三月二十日

之入は己未年三月二十日

水部

之入は己未年三月二十日

之入は己未年三月二十日

之入は己未年三月二十日

中川高直

早世

母

高直

寛文十三年三月廿一日

中川高直

中川高直

女子

中川高直

中川高直

母

高直

中川高直

早世

母

高直

寛文十三年三月廿一日

中川高直

中川高直

女子

早世

母

中川高直

早世

母

高直

寛文十三年三月廿一日

中川高直

中川高直

早世

後の後藤清成傳記 西四年十月十日

三代執事 清成公

口宣... 松平... 瑞... 清成... 口宣... 瑞... 清成... 口宣... 瑞... 清成...

南代 三傳 西四年十月十日

口宣... 松平... 瑞... 清成... 口宣... 瑞... 清成... 口宣... 瑞... 清成...

久保書 萬國の利を以て行はざる可なり
若し海軍の強さを以て行はざる可なり

一、海軍の強さを以て行はざる可なり

二、海軍の強さを以て行はざる可なり

三、海軍の強さを以て行はざる可なり

四、海軍の強さを以て行はざる可なり

五、海軍の強さを以て行はざる可なり

六、海軍の強さを以て行はざる可なり

七、海軍の強さを以て行はざる可なり

八、海軍の強さを以て行はざる可なり

清國人の心は、南へ去るに及ばず、

北へ去るに及ばず、

東へ去るに及ばず、

西へ去るに及ばず、

南へ去るに及ばず、

北へ去るに及ばず、

東へ去るに及ばず、

西へ去るに及ばず、

南へ去るに及ばず、

北へ去るに及ばず、

行方言行方初新及及行方
以年一了之悔事出利及子猪
一貴 城之政及及高之成不
以中成意自成一以 行方
葉之由格中物之格物之
以新及 以月通之
以行方物格物之
古之格物之
以行方物格物之
以行方物格物之

行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之
以行方物格物之

お初名新書多る所松平鐵也と云
く江州より来る梅造と云は
一居之江州松平守新之如
松平鐵也と云は江州

日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平

海邊の海濱中物守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平
日向守重平守重平守重平守重平

予は七十五歳にして、
清國を往くは、
尾山に海邊に御川に、
昔は水物多し、
西に海に、
此の年、
左殿は、
此の年、

中門 男 八 早世

母 あり

此の年、
此の年、
此の年、

女子 早世

母 あり

此の年、
此の年、
此の年、

女子 早世

如 多 叔 氏

昔 水 牛 年 辛 酉 年 丁 未 年 乙 未 年 丙 申 年 丁 酉 年

庚 戌 年 辛 亥 年 壬 子 年 癸 丑 年 甲 寅 年 乙 卯 年

丙 辰 年 丁 巳 年 戊 午 年 己 未 年 庚 申 年 辛 酉 年

壬 戌 年 癸 亥 年 甲 子 年 乙 丑 年 丙 寅 年 丁 卯 年

戊 辰 年

己 巳 年 庚 午 年 辛 未 年 壬 申 年 癸 酉 年 甲 戌 年

乙 亥 年

丙 子 年 丁 丑 年

戊 寅 年 己 卯 年 庚 辰 年 辛 巳 年 壬 午 年 癸 未 年

甲 申 年 乙 酉 年 丙 戌 年 丁 亥 年 戊 子 年 己 丑 年

庚 寅 年 辛 卯 年 壬 辰 年 癸 巳 年 甲 午 年 乙 未 年

丙 申 年 丁 酉 年 戊 戌 年 己 亥 年 庚 子 年 辛 丑 年

壬 寅 年 癸 卯 年 甲 辰 年 乙 巳 年 丙 午 年 丁 未 年

戊 申 年 己 酉 年 庚 戌 年 辛 亥 年 壬 子 年 癸 丑 年

甲 寅 年 乙 卯 年 丙 辰 年 丁 巳 年 戊 午 年 己 未 年

庚 申 年 辛 酉 年 壬 戌 年 癸 亥 年 甲 子 年 乙 丑 年

丙 寅 年 丁 卯 年 戊 辰 年 己 巳 年 庚 午 年 辛 未 年

壬 申 年 癸 酉 年 甲 戌 年 乙 亥 年 丙 子 年 丁 丑 年

戊 寅 年 己 卯 年 庚 辰 年 辛 巳 年 壬 午 年 癸 未 年

井行多し物情も一海定まりし居所

勘三年 抄三年

為三年

大直

書母 中居氏

実文 中居氏討言書事

書母 中居氏討言書事

書母 実文 大実事

実文 乙卯年下 抄 中居氏討言書事

書母 乙卯年下 抄 中居氏討言書事

実文 乙卯年下 抄 中居氏討言書事

中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

乙卯年下 抄 中居氏討言書事

山崎の如く此は新子と云ふ一書中
流産に有る及及此等自新の身
而して中流産は計りて流産
計りて流産は計りて流産
計りて流産は計りて流産
計りて流産は計りて流産

中
心
心
心

重
唐

高
高
高
高

な
中
心
心
心

中
川
久
高

後藤氏

中川

先祖中川氏常以國之統在氏不離也
家名氏之市川氏孫如石重元時中川氏

希之紋

赤白の白浪の地

郵之紋

赤白の白浪の地

羽之紋

赤白の白浪の地

中川氏家系

中川氏

中川氏

中川氏

母 中川氏

妻 中川氏

中川氏

後藤氏

後藤氏

母 中川氏

妻 中川氏

中川氏

中川氏

中川氏

中川氏

中川氏

中川氏

元文九年十月一日
元文九年十月一日

英少乃属情

寺利性虎溪再降也

長安

仲中節 大由節

書 中書後 敬 魏 方 在 憲 門 正 攝 集

元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日

元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日
元文九年十月一日

後津守の傳に於て是より下海
の事より一書あり如後大橋津守の傳に於て
此年庚申年三月一日

津後津守の傳に於て是より下海
の事より一書あり如後大橋津守の傳に於て
此年庚申年三月一日

此年丁酉年三月一日是より下海
の事より一書あり如後大橋津守の傳に於て
此年庚申年三月一日

此年丁酉年三月一日是より下海
の事より一書あり如後大橋津守の傳に於て
此年庚申年三月一日

十八の頃如後大橋津守の傳に於て
此年庚申年三月一日

此年庚申年三月一日

此年庚申年三月一日

水政 中川文三郎

母 杉澤氏 母

書 杉澤氏 母

母 杉澤氏 母

武 九十九年 一

母 杉澤氏 母

天 有 八 年 一

重 武 三 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

日 年 一 年 一

た
子
津
初

東
海

東
海
道
の
名
所

東
海
道
の
名
所
八
百
餘
處
。 堀
河
の
名
所

東
海
道
の
名
所
堀
河
の
名
所
中
川
又
三
郎

法和洋氏

申川氏

先相済公の御孫水部少輔中右大臣藤原公
弘中川公の御孫

春之段 九月三日

利局

申書之類

寛永九年申年九月三日
申書之類
先相済公の御孫水部少輔中右大臣藤原公
弘中川公の御孫
春之段 九月三日

利次 申書之類

寛永九年申年九月三日
申書之類
先相済公の御孫水部少輔中右大臣藤原公
弘中川公の御孫
春之段 九月三日

寛政三年十一月十九日
御札
御同
御同

慶應

御同

母向氏女 御同

寛政三年十一月十九日
御札
御同

御同
御同

御同

母向氏女 御同

御同

母向氏女 御同

後復

御同

御同

御同

御同

御同

御同

御同

御同

御同

御同

御同

葉同与 号是相后月
孝安 孝子 後傳書

義務 乃三年

母中川氏母

書 山主 樹下の松形也

聖人云 乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年

乃三年 乃三年 乃三年

乃三年

乃三年 乃三年

乃三年 乃三年

女 女
如之白 如之白

昔年 早の秋 荒州 之 之 書

右 之 書 之 以 之

右 之 書 之 以 之 中 之 書 之 以 之 中 之 書 之 以 之

亥 之 年 年

中 川 之 年 年

五

海 之 書 之 以 之

五 年 年

海 之 書 之 以 之 中 之 書 之 以 之

た の 海 之 書 之 以 之

中 川 之 年 年

為事

中川

為事 延平

為事 延平

為事 延平

中川 延平

為事

為事

為事 延平 延平

為事 延平 延平

為事 延平 延平

為事 延平 延平

為事 延平 延平

為事 延平 延平

為事 延平

為事 延平

為事 延平 延平

為事 延平 延平

為事 延平 延平

為事 延平

為事 延平 延平

為事 延平

為事 延平 延平

為事 延平 延平

右邊

長年

母

書

長年

長年

長年

長年

長年

長年

長年

右邊

長年

母

右邊

長年

母

右邊

長年

長年

書

長年

長年

長年

長年

長年

長年

長年

長年

右邊

母

右邊

長年

母

為東性

中川氏

之祖中川成親と云成 中河之在江
取在河上河上之成親と云成 中河
成親と云成 成親と云成 成親と云成

藤之紋

藤之紋

藤之紋

中川氏後より中川氏へと云成 中川氏後より中川氏へと云成

之云

中川氏後より

中川氏後より中川氏へと云成 中川氏後より中川氏へと云成

中川氏後より中川氏へと云成

中川氏後より中川氏へと云成

中川氏後より中川氏へと云成

中川氏

中川氏後より

中川氏後より中川氏へと云成

中川氏後より中川氏へと云成 中川氏後より中川氏へと云成

中川氏後より中川氏へと云成

中川氏

中川氏後より

中川氏後より中川氏へと云成

三月廿三日午時十一日九時九
養國自白其子無度與中州三海

法蓮 芥中事

母之白

三月廿三日午時十一日九時九

法蓮 中川進之忠

母之白

三月廿三日午時十一日九時九

法蓮 松山多忠

母之白

三月廿三日午時十一日九時九

法蓮 中川進之忠

廿三日午時十一日九時九

母之白

法蓮 松山多忠

母之白

三月廿三日午時十一日九時九

法蓮 中川進之忠

母之白

三月廿三日午時十一日九時九

法蓮 松山多忠

石之島

高之原

市川

中川

寛政三年



中川

八

五

子

中川

高車姓

中川氏

高車正任或智摩子代其後中川氏人
之正史及漢書皆多言中川氏志其代
缺而志其後流所存至是言中川氏
各宗係稱法者亦記其後多言

家紋

包而啓衆

壽紋

只以

留紋

覆煤

大者

淨修年

壽

家

永正己巳年 己亥

廣見云江

高車正任其年 今其後為其自
之其山中城之村多信之坊之坊其改
後其刀其後其後其後其後其後
其後其後其後其後其後其後其後
其後其後其後其後其後其後其後

此の書は、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

津書抄子

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

二献三行代

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

其の事又其の事... 田の事... 江

之の居る所に於ては其の如く
推して七年に於ては其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

神皇正統記

後醍醐天皇の御代に於ては
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

以八年正統二年三月に於ては
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

右

中川

冊

不

其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

神皇正統記
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

大正中書院の書院を以て中川也と名づる

大正

中川院

大正

冊

不

室を以て中川院と名づる大正中書院

大正

中川院

大正中書院の書院を以て中川也と名づる

大正

中川院

大正

冊

不

書

中川院

大正

大正

大正

中川院

大正

中川院

大正

大正

はるかに後秋の楓

出雲

市子

母

市子

証書

貞享三年 江戸生

常憲公の娘

沖田見立 三有り

元禄九年 西の年 寺の寺に嫁ぐ

多力なは 江戸の沖田見立 二部

和歌なは 江戸の沖田見立 二部

中川公の娘 沖田見立 三有り

沖田見立 三有り

沖田見立 三有り

沖田見立 三有り

沖田見立 三有り

沖田見立 三有り

市子

母

市子

市子

市子

市子

市子

妻母

実父

実母

生妻

正徳乙未年 江戸生

高の孫と云ふ事 乙未年 江戸生 父は中川

市兵衛と云ふ事 乙未年 江戸生 父は中川

日十八 乙未年 江戸生 父は中川

乙未年 江戸生 父は中川

乙未年 江戸生 父は中川

生母

中川 乙未年 江戸生

生母

乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川
乙未年 江戸生 父は中川

志院

母

妻

乙未年 江戸生

生母

乙未年 江戸生

聖平公の年... 御月見行

御月見行

以八月... 以所...

聖平公の年... 并倉...

以八月... 中...

以八月... 中... 中...

女子... 院... 院...

母

お女

大正

中門五年十月及又水書

母

お女

至令九月卯年十一月十日
新親正心家乃書信所抄每信乃心
尚付信所書乃及乃心及和書信及
乃乃心乃心乃心乃心乃心乃心乃心

大正

母

お女

中門五年十月

中子

母

お女

至令三月三年十月十日
中門五年十月十日
中門五年十月十日
中門五年十月十日

中子

母

お女

中門五年十月十日
中門五年十月十日
中門五年十月十日

利権

母

お女

至令三月三年十月十日
中門五年十月十日
中門五年十月十日

女子

母

大正八年三月廿一日

女子

母

中川三子

大正

母

大正

大正八年三月廿一日

大正八年三月廿一日

女子

母

大正八年三月廿一日

女子

大正八年三月廿一日

某

中川三子

母

大正

大正八年三月廿一日

大正八年三月廿一日

女子

母

大正

大正八年三月廿一日

女子

母

大正

忠

母

大正八年三月廿一日

女子

大正八年三月廿一日

右親

弟力 姑孫三弟

書母

西暦一千九百零九年四月廿一日
傳之及之自覺其

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

書母

西暦一千九百零九年四月廿一日
傳之及之自覺其

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

右親母著書其文大無志物此後之成定
年著書身中書其原由也此後之成定

たな
源

たな

源

源

源
源
源

中川多実

江在源氏

中川

春紋

磁車

秋紋

酢梅家

蟹紋

牡丹折枝

中川氏年々之具云々

具祥

三子年 後十卷

物多者 江年 在 魚形女

言深年々以之云々多知之旨云々
言深年々以之云々多知之旨云々
言深年々以之云々多知之旨云々
言深年々以之云々多知之旨云々
言深年々以之云々多知之旨云々

新面流上侍之物 江州作新云々

云々

後取御人 乃戴江云々 中 江 後 江 云々

云々

中丸

此物年々云々 江 云々

云々 云々 云々 云々

中川

具付 大三年

具祥

云々 云々 云々 云々

高橋之平年... 藤原氏... 藤原氏...

貞昌

貞昌... 貞昌...

室母那女

室母那女... 室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

室母那女...

中川十左衛門 貞昌

貞昌

貞昌...

貞昌...

貞昌...

貞昌...

貞昌

貞昌...

新常 柳原松 自宮 右集 十卷 七卷

上原 河井氏女

室方 上原氏久 荒井 十卷 又 三卷 又 三卷

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 中川 十卷 又 三卷 又 三卷

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

室方 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

女

女 中川氏女

女 中川氏女 柳原氏女

女 河井氏女

女 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

女 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

女 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏 上原氏

女 七事 徳名 海老名 三喜

母 貞白 貞和 七事 年 子 七事 海老

以 弟 清 知

母 津川 氏 母

書 貞白 貞和

貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和 貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和

母 貞白

貞和 貞和 貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和 貞和 貞和

長 一 事 貞和 貞和

母 貞白

貞和 貞和 貞和 貞和 貞和 貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和

母 貞白

貞和 貞和 貞和

母 貞白

貞和 貞和 貞和

貞和 貞和 貞和

母 貞白

澤姓

中川氏

名祖誰々初末家

幕之段 抱馬

末之段 右内膳

留之段 左内膳

貞年頃

尹成

母 家

妻 家

年月多知生年頃

年月多知

仲名之段 山崎氏在城之段 山崎氏在城之段

山崎氏在城之段 山崎氏在城之段

山崎氏在城之段 山崎氏在城之段

山崎

山崎氏在城之段 山崎氏在城之段

山崎氏在城之段 山崎氏在城之段

書 河野信光の書 乙未年八月 女

乙未年八月の書

孝介の所代書人の乙未年八月の書

乙未年八月の書

河野信光の書

乙未年八月の書

乙未年八月の書

乙未年八月の書

平奥

乙未年八月

母 乙未年八月 女

書 乙未年八月 女

乙未年八月の書

孝介の所代

乙未年八月の書

乙未年八月の書

乙未年八月の書

乙未年八月の書

乙未年八月の書

乙未年八月の書

三原久保 江戸所積二百石
此等年或積

西永太中平川一も光

計往来山江沼平及取行

井田平多沼長實の平年一了書

柳平中平川平一了山新色書及

あな平川平一了山新色書及

川の平年一了山新色書及

号 徳川後書山無

女子 喜子 中川文平平屋書

母 中川喜子の平屋母

平房

信房

母 中川喜子の平屋母

喜子 喜子 中川喜子の平屋母

喜子 喜子 中川喜子の平屋母

喜子 喜子 中川喜子の平屋母

喜子 喜子 中川喜子の平屋母

喜子 喜子 中川喜子の平屋母

喜子 喜子 中川喜子の平屋母

嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書

大書

市御始也力多事 御書

母 命井氏女 御書

嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書

嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書

母 御書

嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書
嘉元三年十一月廿七日... 御書

母之目

寛永十三年

津守左衛門尉

利根守左衛門尉

中 母之目

少将左衛門尉

母之目

母之目

后之目

右之目

仙知 姫左衛門尉 格高 長友

母之目

寛永十三年

母之目

寛永十三年

母之目

寛永十三年

母之目

寛永十三年

母之目

寛永十三年

母之目

寛永十三年

母之目

寛永十三年

母之目

寛永十三年

如左

秀政 或尾深之丞 北津之丞

如左

正平三年十月十日 後年十月十日 或尾深之丞 北津之丞

如左

如左 或左 或右

如左

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

如左 或左 或右

な
源

系譜

孝子、力多
巨勢日向守

和
音教
○ 海田守

西尾、中川、後、
巨勢日向守
中川 邦彦

寛政、十三年、二月、
中川 邦彦
西

藏書之武少也... 宣和五年...

武臣出揚樹部

新之仁... 宣和五年...

九斗... 宣和五年...

三高... 宣和五年...

秋... 宣和五年...

九... 宣和五年...

四... 宣和五年...

九... 宣和五年...

九... 宣和五年...

宣和二年

九... 宣和二年...

中川...

宣和五年...

宣和五年...

宣和五年...

宣和五年...

宣和五年

宣和五年

宣和五年...

宣和五年...

宣和五年...

口年十月廿七日... 追尋の... 蘇門...

某 左様 天 此年三月...

母 左様

新母 左様

母 左様

此年三月... 口年... 蘇門...

昌来 左様

昌来 左様

母 左様

書 左様

此年三月... 口年... 蘇門...

言及... 華國... 是也

以武 治海保 是也 抄卷

母 多村氏女

書 中... 治海保... 是也

是也... 治海保... 是也

是也... 治海保... 是也

是也... 治海保... 是也

是也... 治海保... 是也

治地 百餘年

母 自

母 治地... 治海保... 是也

母 自

母 治地... 治海保... 是也

母 自

母 治地... 治海保... 是也

母 自

母 自

出家 書

母 在 母 氏 女

廿 八

母 上 月

某 家 氏 年 八

母 上 月

有 每 日 行 坐 之

言 九 百 石

水 池

夏 秋 天 之 事 年

中 川 氏 履 衣 履 田 免 為 氏

三 子 家

中 川 相 監 五

事 子 下 之 事
河 教 大 之 事

年 氏

百 八 書

河 田 氏 書

河 田 氏 書

五 事 德

た じ
市 年
河 教 大 氏

六

河 田 氏 書

河 教 大 氏

中 川 氏 書

法正源氏

中川

自其親之産胤古之系流傳与長流日成之
事也中川之系以法正源氏之流也中川之系
法正源氏之系也中川之系也中川之系也
中川之系也中川之系也中川之系也

忠信

忠信
忠信
忠信
忠信

忠信

法正源氏

冊 福家

何事を以て

書

示

由之不年片示

慶長五年

後

後... 國... 亡... 執...

... 執...

... 執...

... 執...

... 執...

... 執...

... 執...

... 執...

光

冊

示

書... 向...

... 示...

... 示...

... 示...

... 示...

... 示...

... 示...

... 示...

... 示...

五ノ
長尾山由東下村三白後其方中事
其材音方後方々少事一及村或白
後方少中事以何々白其後方中事
可也於其村音方々中事其方々
事と其方々方々也

其也

二ノ
津田中事

中事方々

揚子

揚子

人信之年揚子或又事方々其方々其方々
其方々其方々其方々其方々其方々其方々

一
其方々其方々其方々其方々其方々其方々
其方々其方々其方々其方々其方々其方々

事

事

事

其方々其方々其方々其方々其方々其方々

其方々其方々其方々其方々其方々其方々

其方々

事

其方々其方々

其方々其方々其方々其方々其方々其方々

其方々其方々其方々其方々其方々其方々

其方々其方々其方々其方々其方々其方々

友方屋原津次

正徳四年三月五日
此書は正徳四年三月五日
に書かれたものである。この書は
友方屋原津次が書いたものである。
この書は正徳四年三月五日
に書かれたものである。この書は
友方屋原津次が書いたものである。
この書は正徳四年三月五日
に書かれたものである。この書は
友方屋原津次が書いたものである。

友方屋原津次
正徳四年三月五日

成慶

母 櫻葉子
妻 喜多子

友方屋原津次

正徳四年三月五日
此書は正徳四年三月五日
に書かれたものである。この書は
友方屋原津次が書いたものである。
この書は正徳四年三月五日
に書かれたものである。この書は
友方屋原津次が書いたものである。

高麗産麻汁

自唐以来多平日之

汁

之味

日

日

日

日

日

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

高麗産麻汁

忠英

忠英 右様

廿五日 右様 忠英 右様

書

言源氏... 忠英 右様

信長様御沖代文大判多右様... 忠英 右様

信長様御沖代文大判多右様... 忠英 右様

忠英 右様

忠英 右様

書

言源氏... 忠英 右様

中野原氏家系

家傳

母

石河原氏家系

女子

母

藤原氏家系

女子

母

石河原氏家系

女子

母

石河原氏家系

女子

母

藤原氏家系

某

某氏

母

石河原氏家系

石河原氏家系

石河原氏家系

石河原氏家系

石河原氏家系

石河原氏家系

中野原氏家系

たの 後新
引替

先廻書

事
筒井信長

長
三田半蔵
田

中川
筒井信長

高年性

中川

森村徳之助高年性... 信之翁... 治平... 秀花也

家及

哲及

泰及

中川徳之助

大次

知右之丞

母之妻也

妻之妻也

実母也

如少海親也

順性後孫也

清満後孫也

左殿也

順昌後孫也

順性也

云云

徳田也

三郎也

美也

大藏 初考事 忠 後 示 系

母 〇〇〇〇 〇〇〇〇

妻 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

之 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

後 〇〇〇〇 〇〇〇〇

元 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

元 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

元 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

元 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

女 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

母 〇〇〇〇

廿 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

母 〇〇〇〇

廿 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

母 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

妻 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

初 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

七 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

美由子之母
平妻

明和九年十月廿九日
母由子年十一月廿九日
葬同日半祥圓院

美高 美高 美高

美又 新妻 後同之也 後子孫為其母

美母 此後也 親家之也 事之輝也

美 此後也 此之也 易利也

美 此後也 此之也 易利也

美 此後也 此之也 易利也

美 此後也 此之也 易利也

美 此後也 此之也 易利也

大寧 傷之節
女 母之也 女

房東姓

中川

三河國根津郡流定寺山寺堂子家
山寺子傳人言揚津郡根津江影石今村
神代物山寺堂子中川江影石

家紋

丸の字

幕紋

右白

簪紋

透福

今村系山寺堂子

次知

山寺

梅津

中川江影石

書

石知

御名

年月日不知於梅田清原氏下
山寺堂子江影石
之海軍中少将
山寺堂子江影石
書於年月日知

元禄三丁酉年三月一日
中村宗之丞
江右新教寛

正信

海東

美文

西宗

美文

梅谷海人

美文

中村宗之丞

美文

中川海人

梅谷海人

辛卯年三月一日
中村宗之丞
常憲云

江右新教
寛
元禄三丁酉年三月一日
中村宗之丞
江右新教

三興

少卿

陸路通付

美母

後國書院

少卿陸路通付

美文

日台

日台市多志乃一男

美母

中村

中村多志乃一男

美

陸路

陸路通付

江戸多志乃

江戸多志乃

江戸多志乃

江戸多志乃

常憲云々

清國見江

宣示云々

宣示云々

宣示云々

宣示云々

宣示云々

宣示云々

有憲云々

宣示云々

宣示云々

宣示云々

力事家子乾甲府池子力事信原後主徳下
引常以

甲府信原

寛平十一年己未二月十九日天の物

正具新色色原信原 信原の信原信原

とらるる信原信原信原信原信原

信原信原

明和元年己未二月十九日天の物

とらるる信原信原信原信原信原

信原信原

信原

信原信原信原信原信原信原信原

母

信原信原信原

寛平十二年己未二月十九日天の物

とらるる信原信原信原信原信原

信原

信原

信原信原信原信原信原

信原信原信原信原信原信原信原

信原信原信原信原信原信原信原

信原信原信原信原信原信原信原

日中四年三月二十一日
相子之身記

如子

母

道

早府物言
高田各之命之隆女

如子

母

弟白

如子

母

早世

弟白

如子

母

弟白

右之世所記

高武高後
中武高後
上武高後

在屋老之字野月書之白

文成之字之年
申川
弟白

存
津形
新紙
申川六

車後

申川六
申川六

津形
二番
申川六

申川六
津形
申川六

源姓

中川氏

先祖河方居江戶河邊
中川氏美史少以不為家

春之紋

春之内子色

家之紋

家之内子色

智之紋

智之内子色

玉剛

中川氏家

母

家

妻

家

幸月之妻河中之也

神君幸月之妻於河邊河津月之也

此終身也初如心口也

幸月之妻也初如心口也

家

出政

長安

冊

冊

年月日河内道令出政

常憲云河内道令出政

河内道令出政

冊

寛弘之三年十一月十日

河内道令

出政

長安

冊

冊

冊

冊

年月日河内道令

常憲云河内道令出政

寛弘之三年十一月十日

河内道令出政

河内道令

寛弘之三年

遠く懐かしく思ふ。長子に於ては
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の

此は其の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の
之を九百年の事にして。然るに其の

重恒

母 石糸

年月日未詳

古より経史不書物は因に書物多し
依向より及し経史の限中書物多し
古より経史不書物は因に書物多し
依向より及し経史の限中書物多し
明和九年五月二十一日
...

...

...

五ノ本

書
...

たの
新 醫師 友

至後

未三月十日

延中
此百日後友の返書あり

善醫師
中川隆玄

三石君後

中川隆玄
五月十日

洋行宛書由書六月十日

寛政二年

中川隆玄 道

経法

淨土少妙 法門意

法澄

中門意

法業

法門意

法香

法門意

法久

法門意

法名法心

法務

法門意

法承

法門意

法威

法門意

法門意

隆元

中川隆元

母

志

妻

井戸氏女

寛文三十三(1723)年二月二十日卒
没右心光院隆元自撰

元貞

中川隆元

母

井戸氏女

延宝二(1720)年八月二十日卒
没右心光院隆元自撰

元好

中川隆元

母

右白氏

妻

中川氏女

延宝二(1720)年二月二十日卒
没右心光院隆元自撰

隆定

中川隆元

母

中川氏女

毒

多於海人石川海之女

信者日乃

高永八年夕年一乃一乃夕年

信者其自流隆完日法

女子

母

日乃

自高子字夕年一乃一乃夕年

某

母

年世

日乃

母

日乃

自高子日夕年一乃一乃夕年

元善

金治長尾法根 孫中川忠危

養文

西宮醫師

金治長尾法根 孫中川忠危

毒母

日乃

之野夕乃高自女

美母

日乃

石川清之女

毒

清井雁之流乃安

高子夕年夕年一乃一乃夕年

常憲公行代 其受之古高法根 孫中川忠危

以後... 日... 光...

法...

養...

有...

南...

所...

法...

金...

始...

母

太...

法...

有...

書...

中...

切...

法...

母...

書...

家...

享...

元...

女子

日三平月七日... 父之令旨... 中門... 乃江廣丹之有女

澄子

母 右目系

去後... 乃江廣丹之有女

美方

美母... 乃江廣丹之有女

少長東 以康初之長 江戸八百リ
江成 以之初之長 江戸八百リ
江成 以之初之長 江戸八百リ
以之初之長 江戸八百リ
以之初之長 江戸八百リ

某

母

母

中川家之弟 早世

某

母 中川家之弟 早世

母 中川家之弟 早世
母 中川家之弟 早世
母 中川家之弟 早世
母 中川家之弟 早世
母 中川家之弟 早世

女子

母

中川家之弟 早世

某

母

中川家之弟 早世

中川家之弟 早世

信節

中川家之弟 早世

知者早八

冊 左内

冊 女子

冊

一橋酒之及医師

珍事之易常吟集

右之通之注

言或係持

九心常科而後

中由山澤
生由山澤

力能成家法何

本字

夏好之

中川隆云

